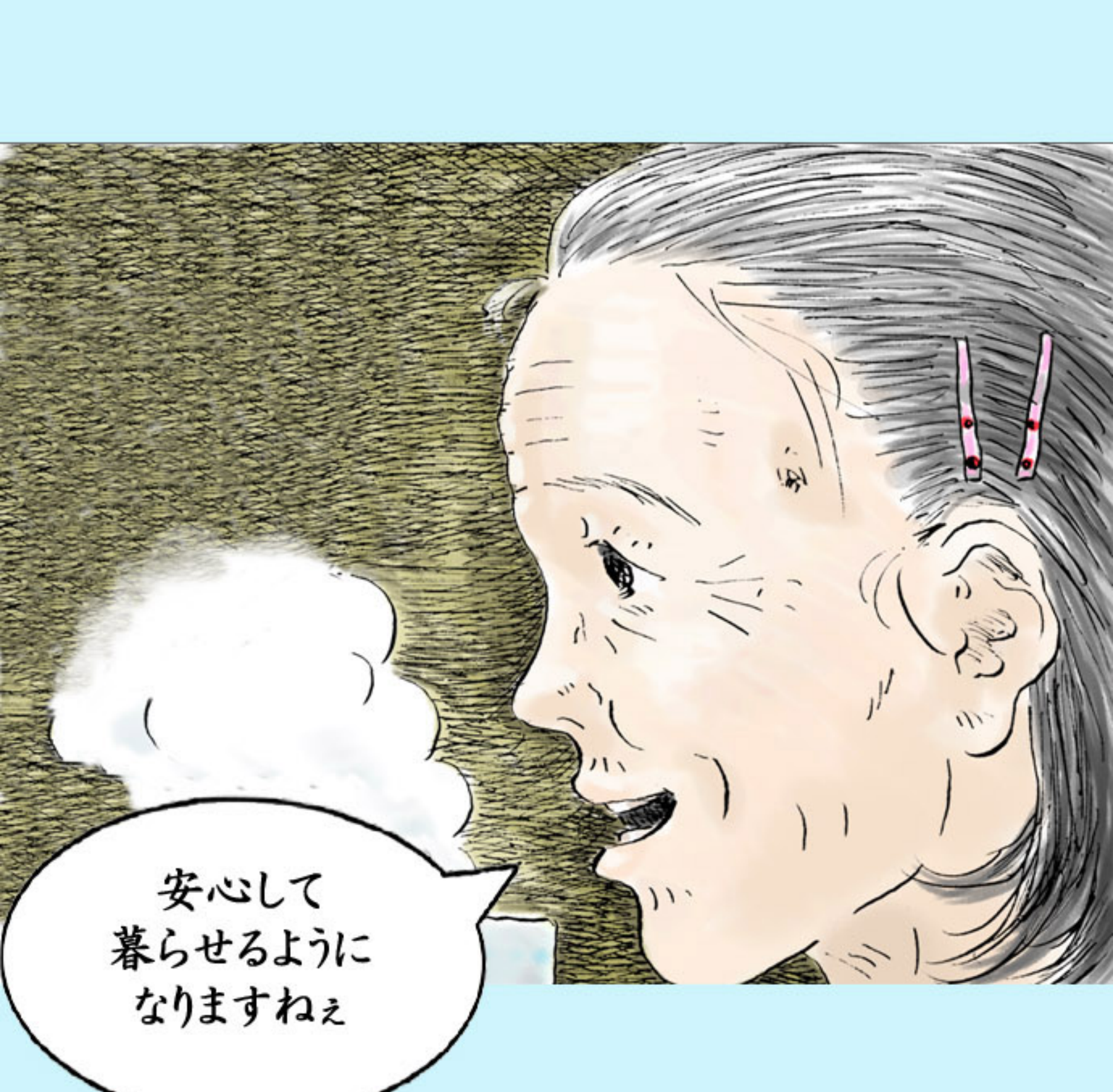
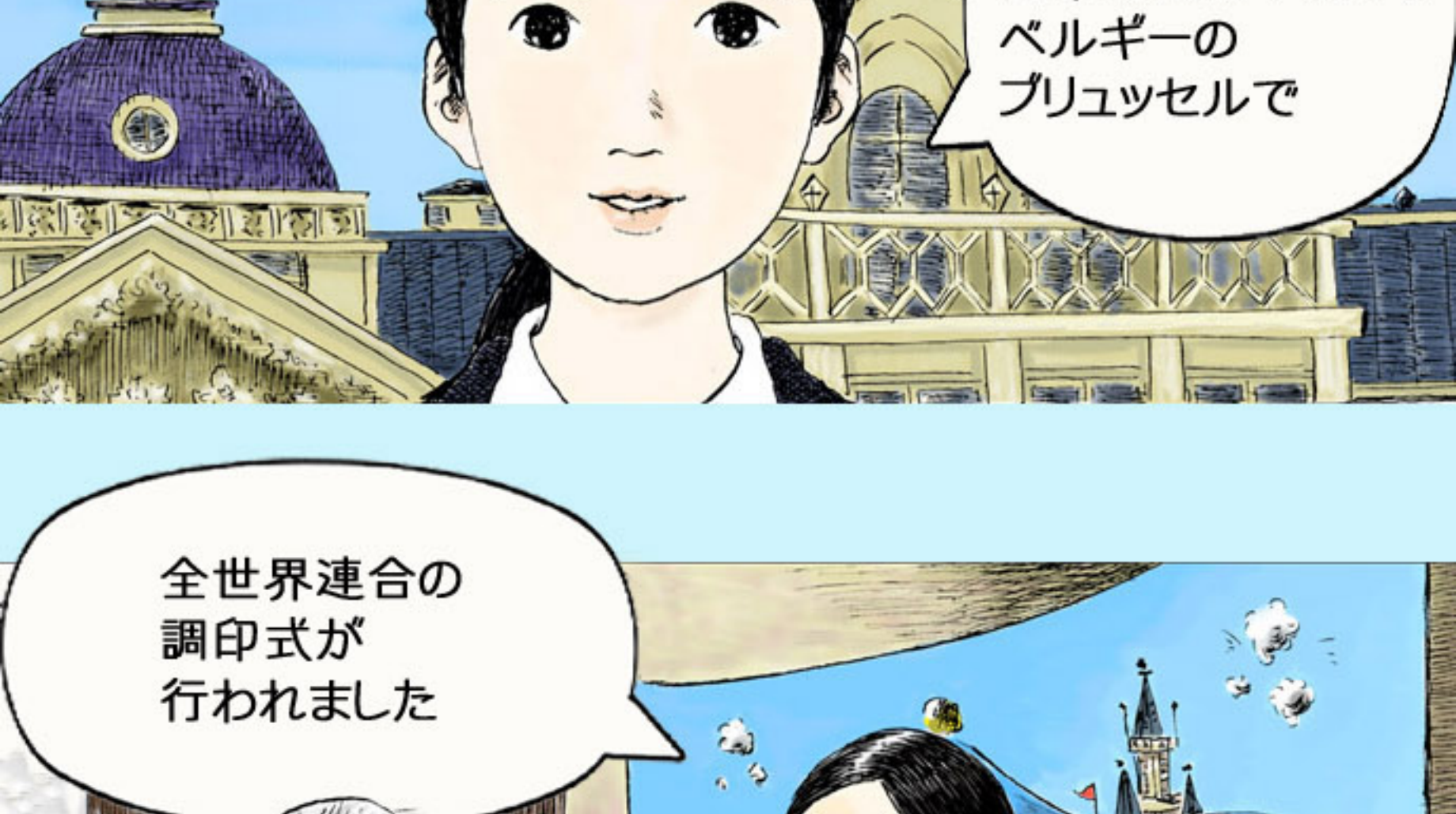


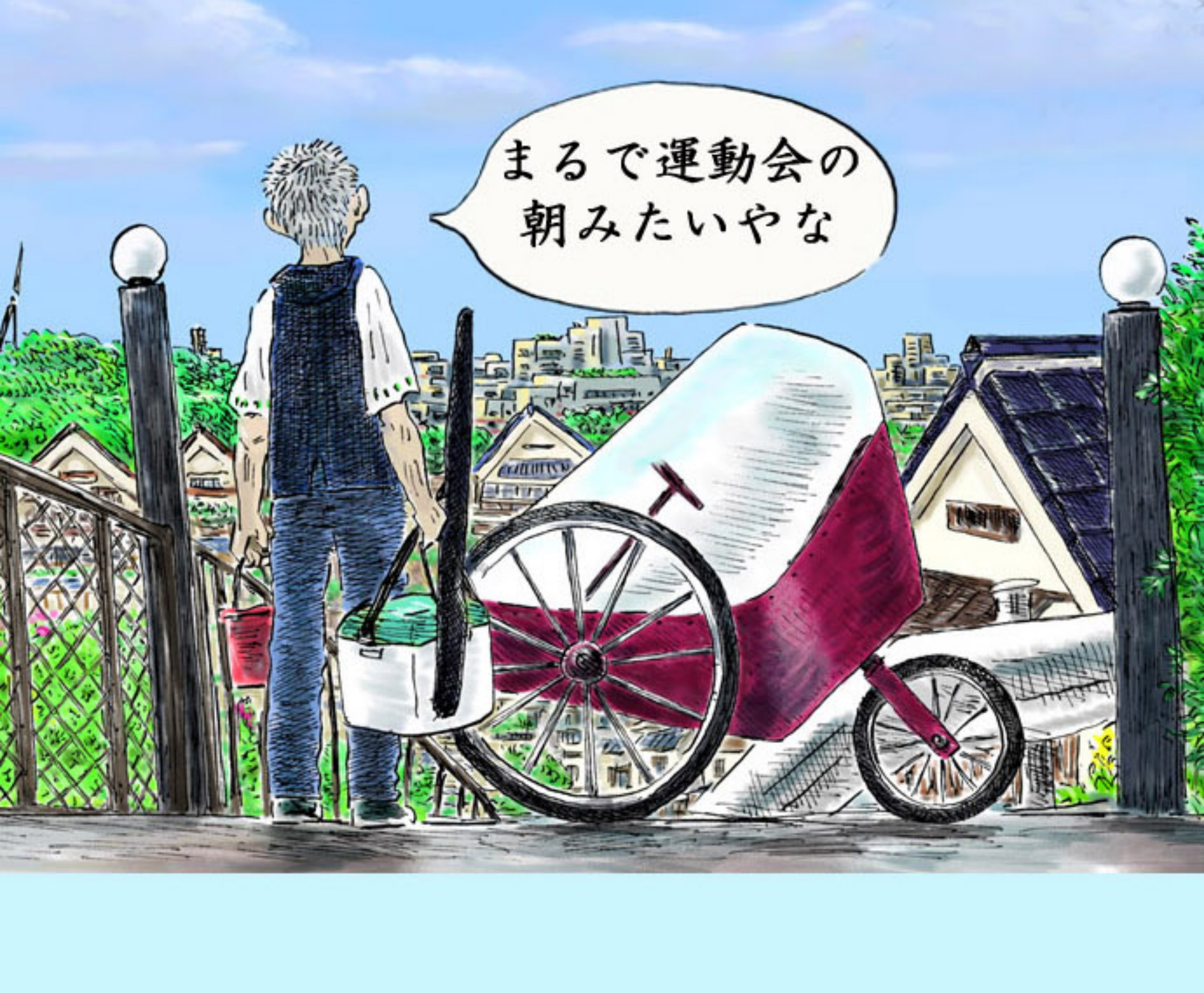
未来エコファンタジー 22世紀の大阪の街から



人間は想像力豊かな生き物だ。

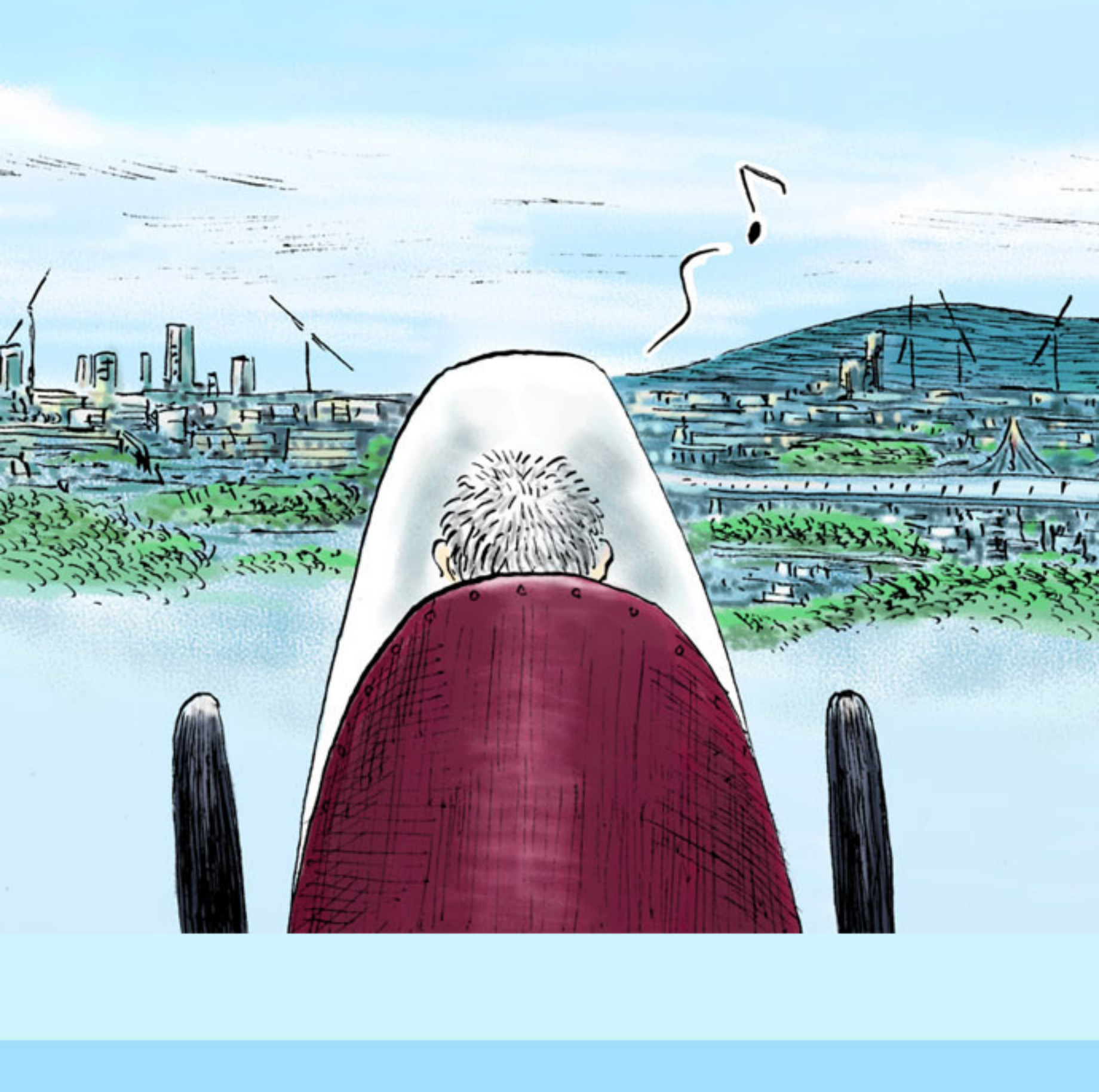
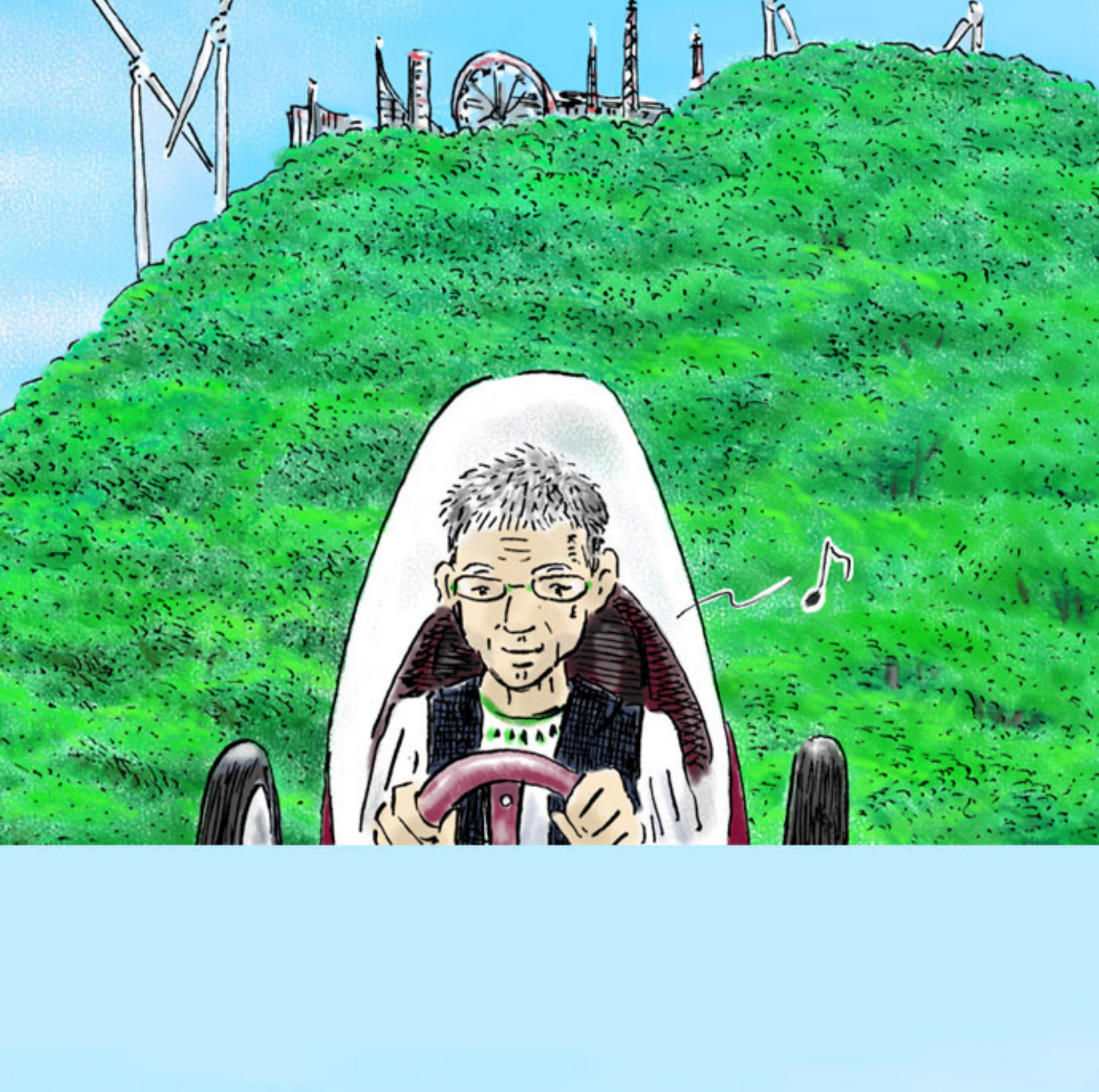
その力で豊かさを手に入れた。

その想像力が暴走しないように
人々は開かれた世界を作り
お互いを知ることで長い時間かけて
ようやくここまでまとまった。





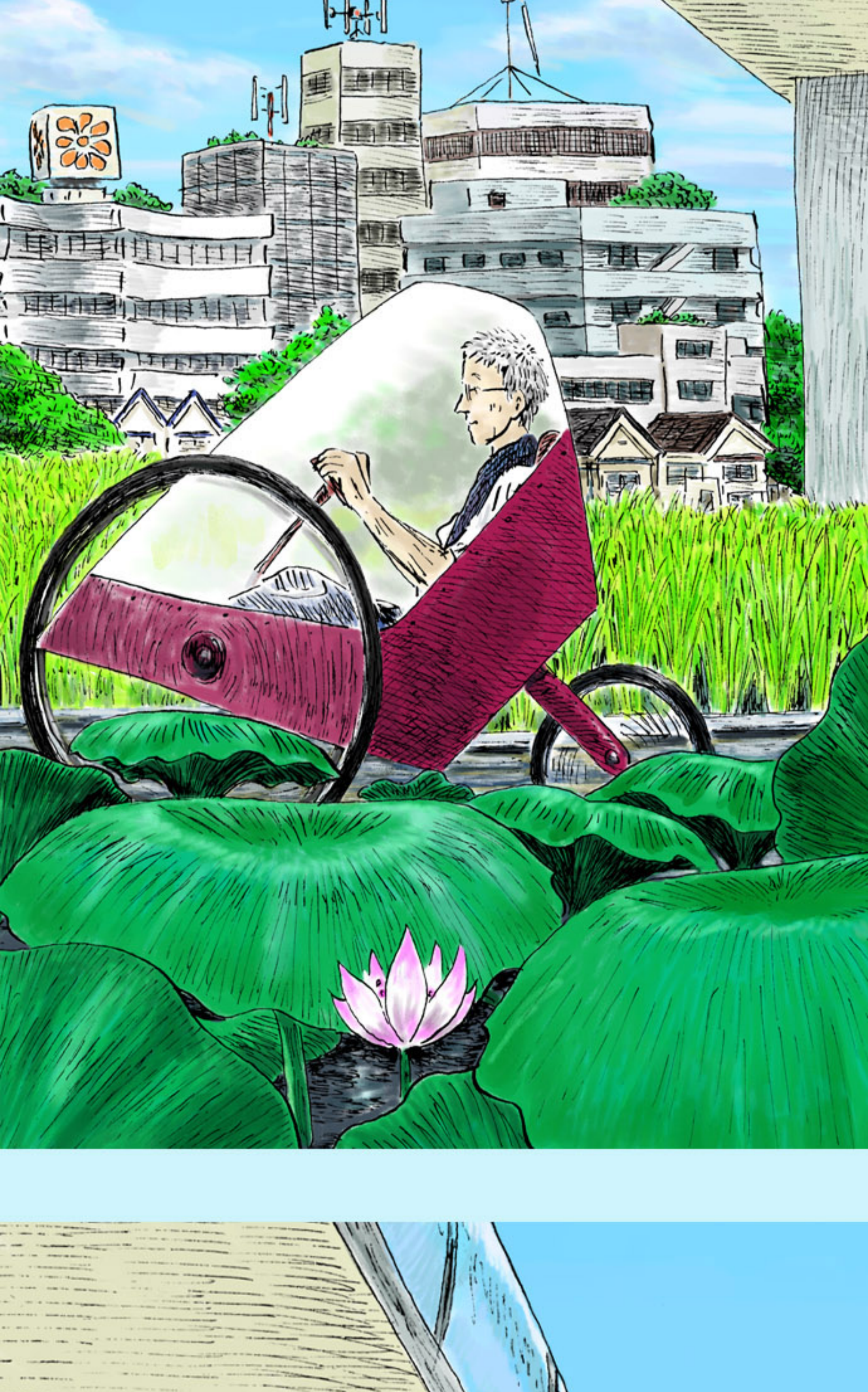
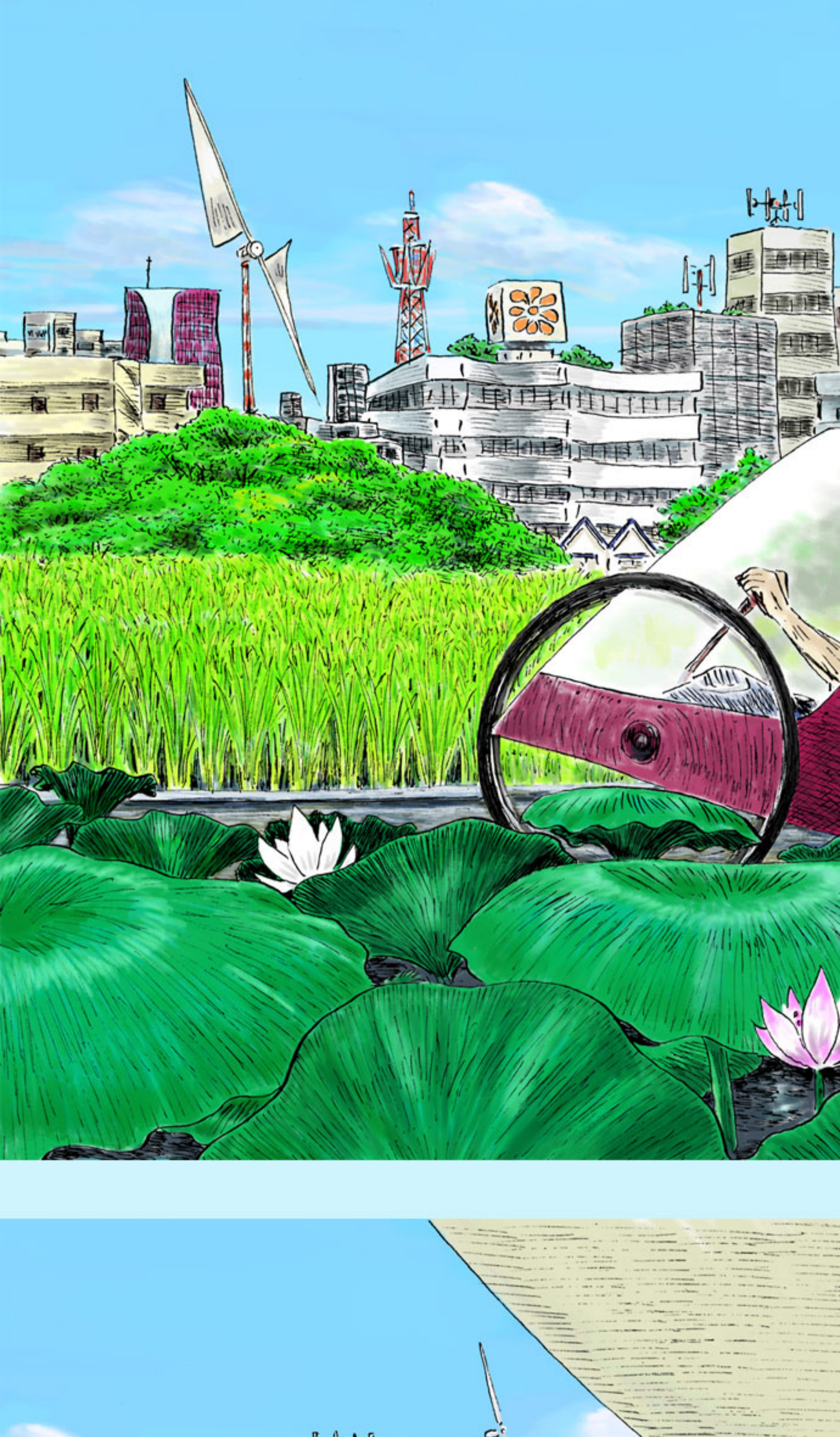
21世紀の後半になって
大阪の生駒山頂にも
ようやく風車が並ぶようになった。

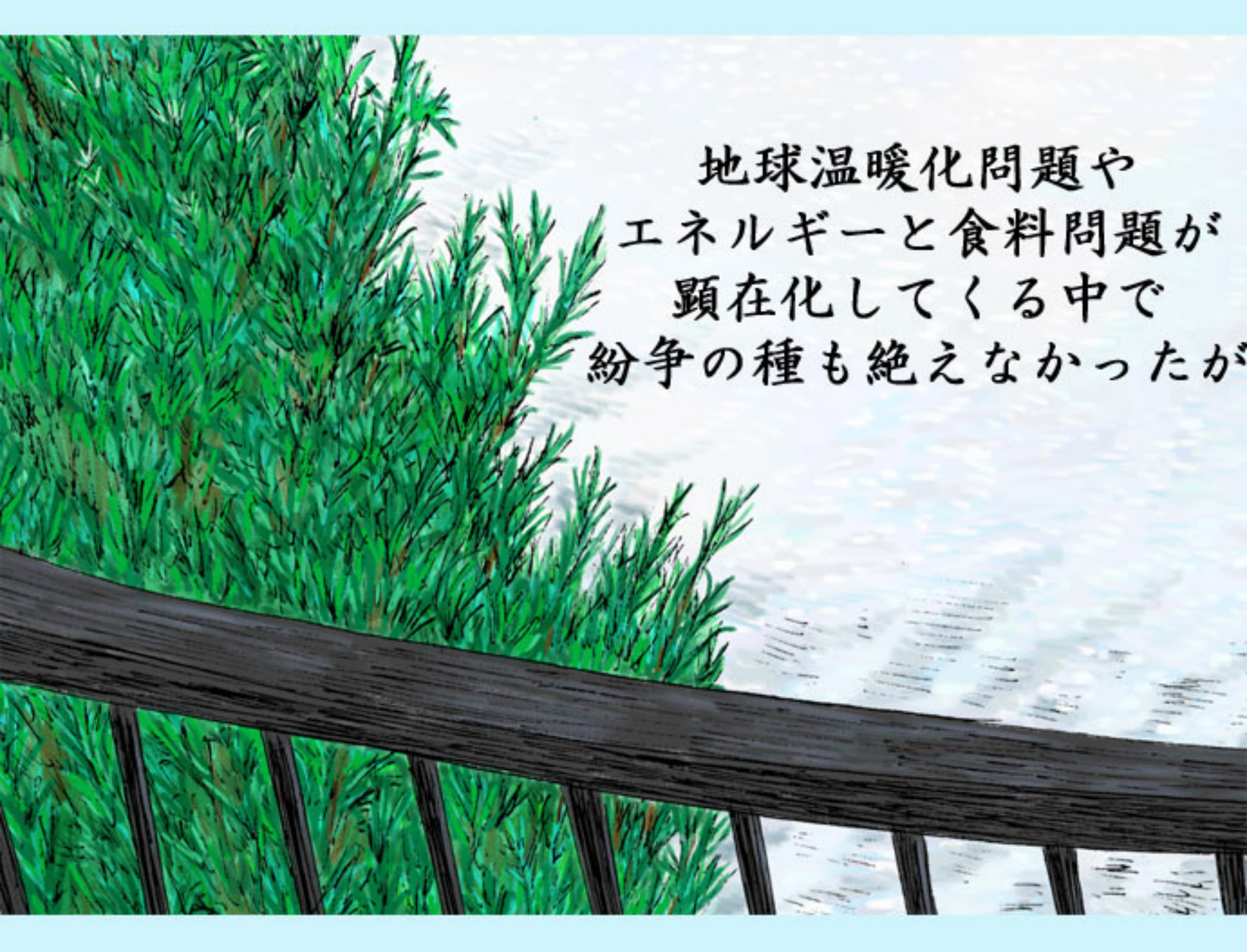


大阪湾にもたくさんできた。



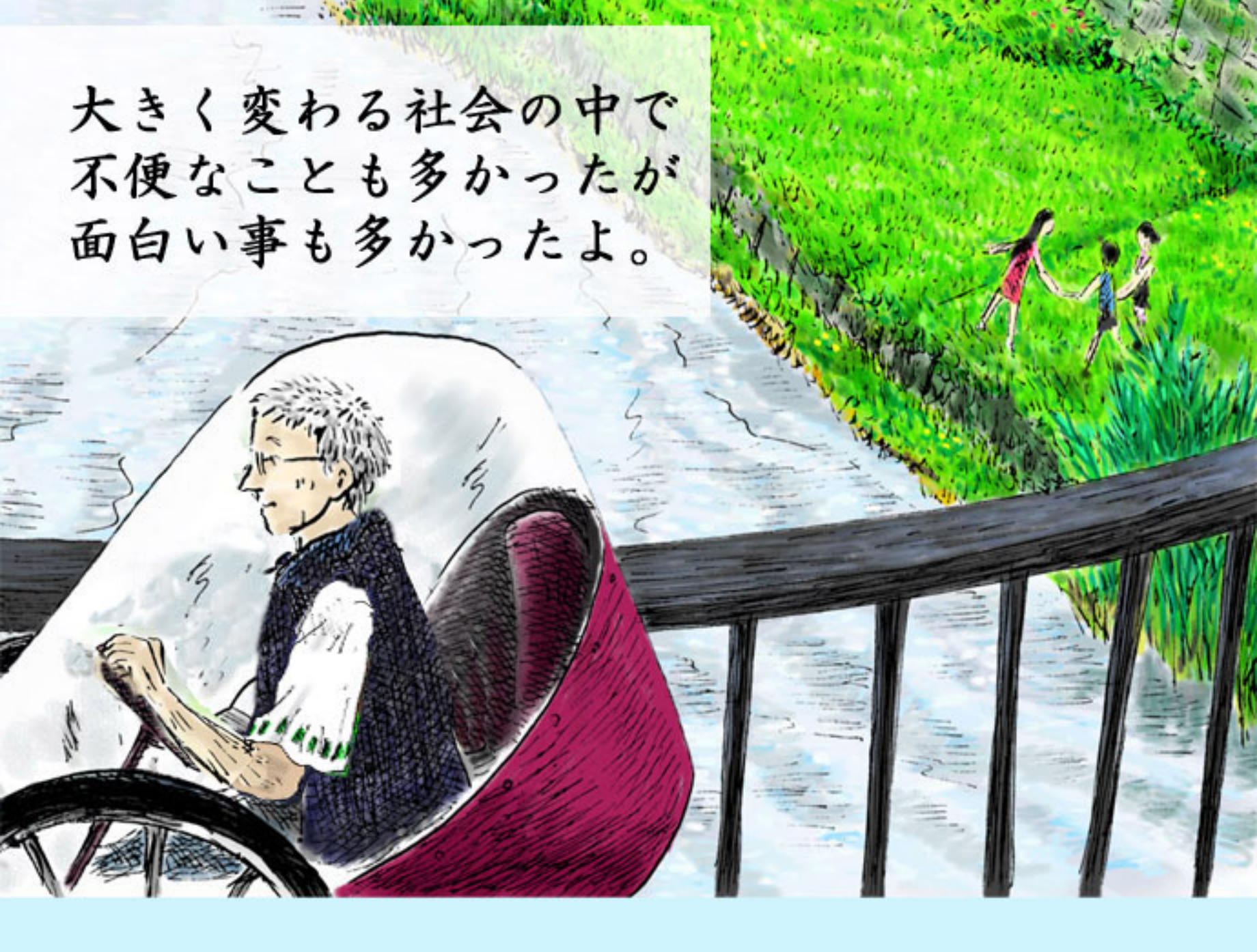
21世紀の大阪平野は
建物で埋め尽くされていたようだが、
人口の自然減などもあって
レンコン畑や田んぼが復活した。





地球温暖化問題や
エネルギーと食料問題が
顕在化してくる中で
紛争の種も絶えなかったが

各国や地域ごとに自給自足の道を
探ることでここまでの。



大きく変わる社会の中で
不便なことも多かったが
面白い事も多かったよ。

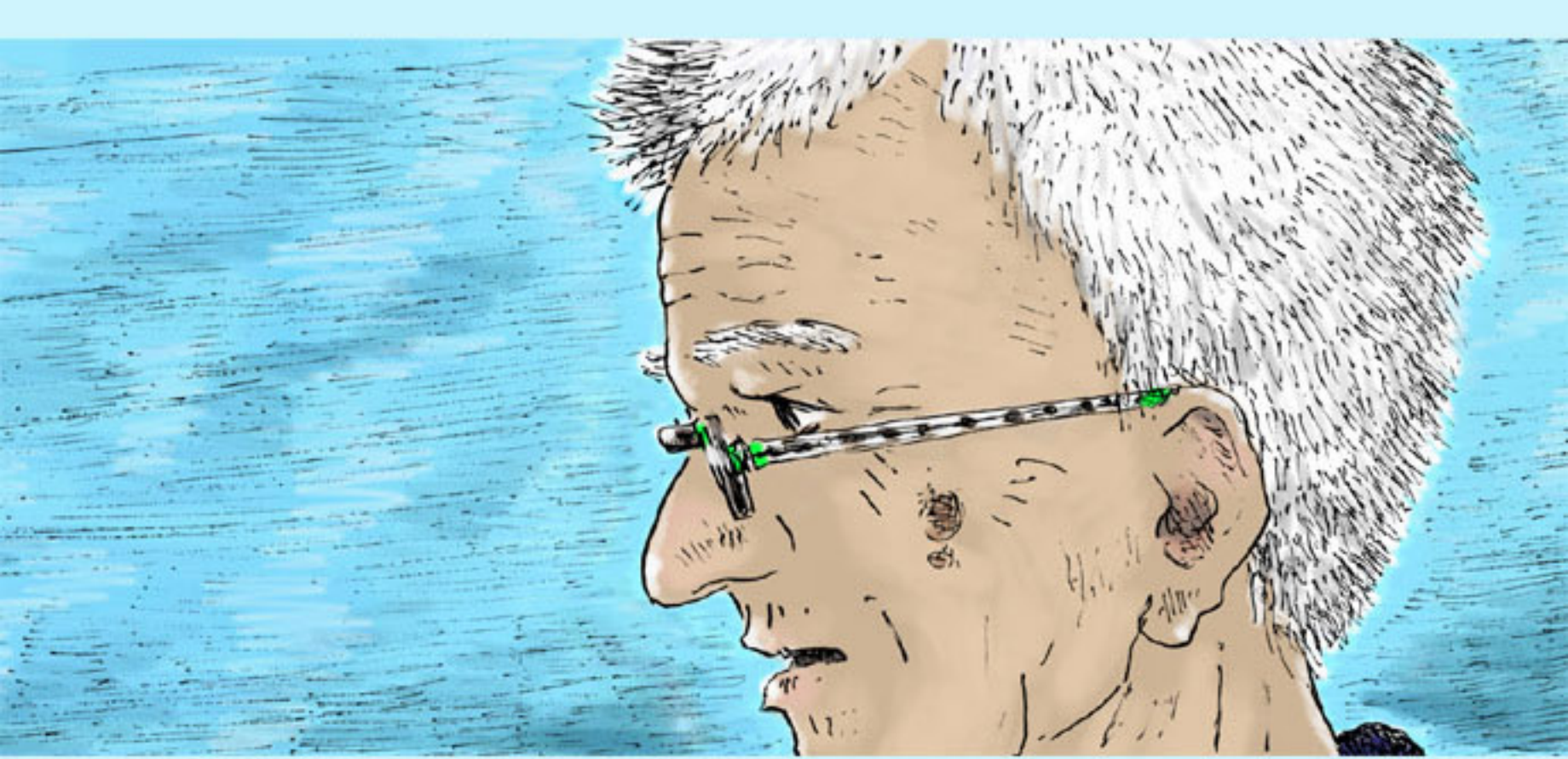




私のおじいさんから聞いた話を思い出すと
泥だらけで遊んでいいのだろうかとか
川の魚を食べてもいいのだろうかとか



気になる時もある。



でもだいぶ変わった。

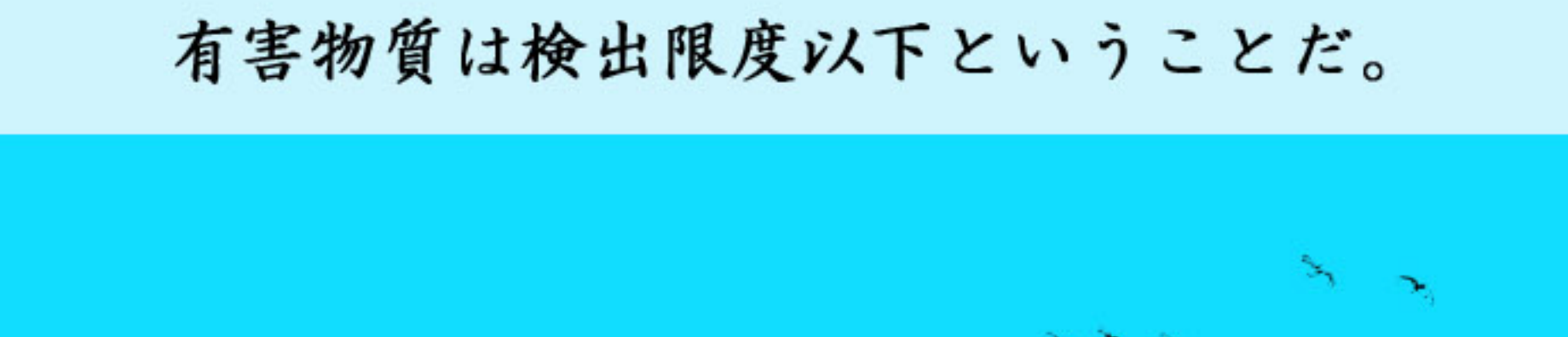




消えていって戻らない生物もいるし



新しくやってきた生物もいる



有害物質は検出限度以下ということだ。



たくさんの動物たちが生きるこの地は
もう汚れてなんかはいないだろう。

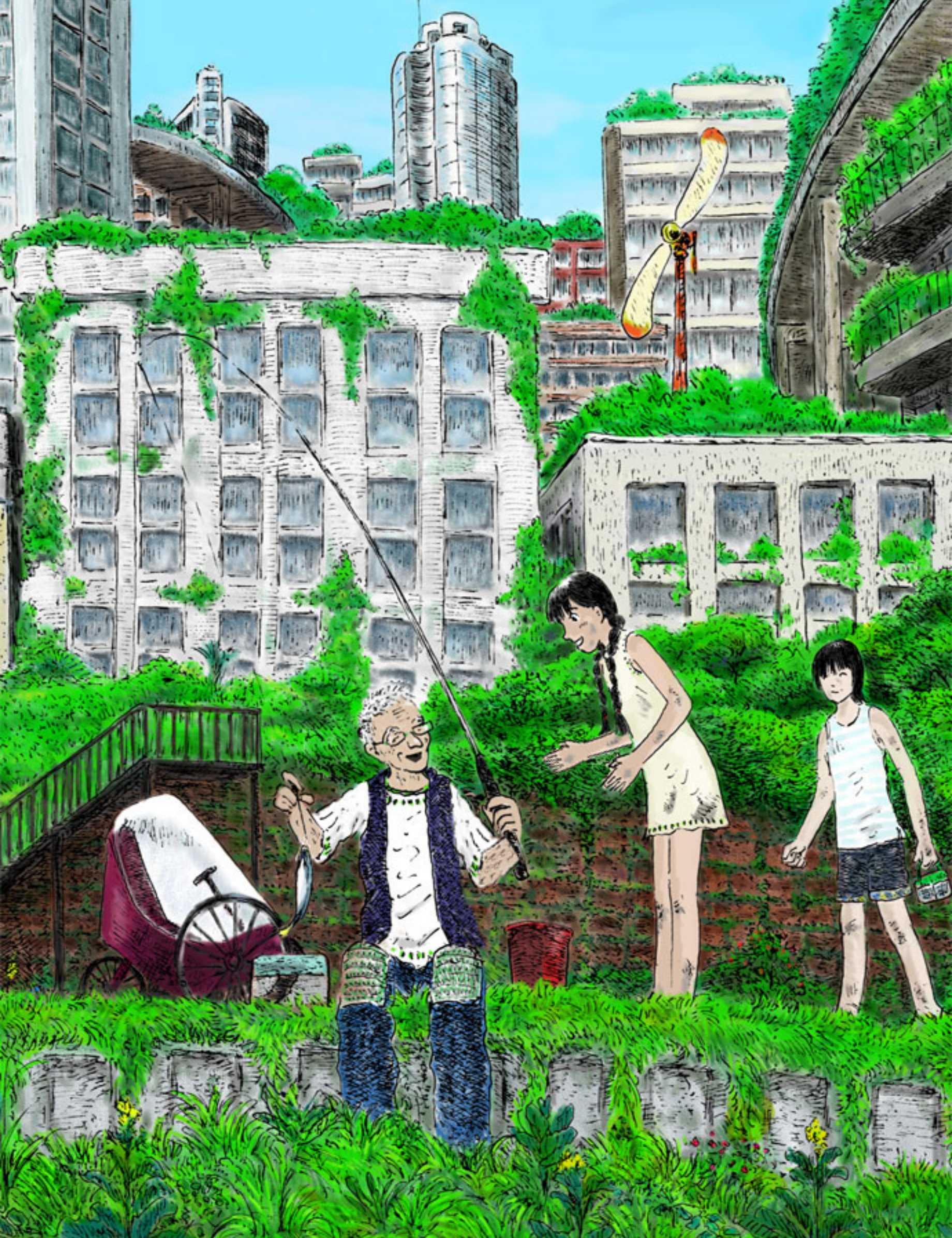




生まれ育ったこの街で



子どもたちの素敵な笑顔が見れて



好きな釣りが近くの川で出来て



こんなに楽しく余生を過ごせるなんて

こんな幸せなことはない

おしまい

